

PACNの取り組み

～ PTAの枠を越えた保護者ネットワークを目指して ～

- 立ち上げのきっかけ
- 現在の活動内容

 保護者ネットワークの選択肢の一つとして考えるヒントに

峰松 拓毅 氏

自己紹介

峰松 拓毅（みねまつ ひろき）

- 子どものための保護者活動を考える会（PACN）会長
- 小学校PTA会長（[PTAの地域移行①](#)・[②](#)）
- 学校運営協議会会長
- 幼稚園父母の会会長
- 中学校PTA副会長

学校・PTA・地域活動に関わる中で感じたことをお話しします。

こんなことを感じたことはありませんか？

- 他校ではどうしているのだろう？
- PTA以外にも相談できる場所が欲しい
- 学校や行政と話したいけれど方法が分からない
- 忙しくて活動には参加できないけれど情報は知りたい

私自身も同じようなことを感じていました。

PACN立ち上げのきっかけ

• PTAを取り巻く環境の変化

- ✓PTA任意加入化
- ✓共働き家庭の増加
- ✓保護者の価値観の多様化
- ✓GIGAスクール構想の進展

• 感じていたこと

- ✓他校事例はWeb等で知れる時代になった
- ✓保護者同士がつながる方法も変わってきた
- ✓所属の有無に関わらず情報共有が必要になった
- ✓子育て世代の声を共有し、行政と対話する場も必要

PACNとは

- 子どものための保護者活動を考える会

(Parental Activities for Children in Nagareyama : PACN)

- 活動目的：

- 1.時代に合わせた保護者活動について考える
- 2.保護者活動の担い手がつながる場を作る
- 3.行政と対話しながら子育てしやすい街づくりを進める

活動紹介

- 情報共有
 - ✓ 教育施策・子育て施策
 - ✓ 学校やPTAの事例共有
- イベント開催
 - ✓ PTA・保護者会/P連の本質を考える会
 - ✓ PTA/保護者会 基本の『き』～新年度、楽しく始めよう～
 - ✓ 令和の時代に合わせた保護者活動について考える会
 - ✓ 事例共有会・意見交換会
- 行政との対話
 - ✓ 教育委員会との意見交換
 - ✓ 保護者視点での提案
 - ✓ 情報公開や参加のあり方の検討

PACNが目指していること

保護者が所属や立場を超えてゆるやかにつながれるネットワーク

- PTA加入・非加入を問わない
- 学校を問わない
- 役員経験を問わない
- 参加頻度に依らない
- 得意分野を活かせる、等

参加者へのメッセージ

大切なのは

「どの組織に所属するか」

ではなく

「必要な情報や人とつながれること」

だと思っています。

皆さんの地域や学校に合った

保護者ネットワークのあり方を考えるきっかけになれば幸いです。